学校番号	１０１２

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	(学)中国語圏の文化Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	しゃべっていいとも中国語（朝日出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語を発展的に学ぶとともに、中国語圏の文化、歴史、社会など幅広い知識を学び、日本との比較、関係、結びつきなどをさらに考察し、多文化共生をより深く考えます。
言語面では、初級～中級文法の習得と共によく使う中国語表現を深く学び、実践で使える語学力を身に着けていきます。また、４技能（聞く・話す・読む・書く）をさらに発展させ、実社会使える応用的な中国語の習得を図ります。
自ら積極的に中国語を学び、使えることを目標としています。

2　学習の到達目標

・中国語及び中華圏の国々の社会、歴史、文化等の理解を深められているか。
・日本や諸外国と中華圏のとの理解、比較、それを通しての自分の考えや気づきが表現出来ているか。また応用的な中国語の表現を理解し、使いこなせている。
・授業参加、授業態度、発表、質問、宿題等課題の提出物などの学習意欲が高い。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・中国語の音声、語彙、文法の理解を深め、知識を身につける。	・日本や諸外国と中華圏のとの理解、比較、それを通しての自分の考えや気づきが表現する。 ・中国語の基礎～応用表現を適切に使って自分の表現したいことを相手に伝達できるようにする。又相手の話す中国語を的確に理解する。	・中国や中国圏の文化的歴史的背景を学び、相手や相手の文化歴史に関心を持ち、理解しようとする態度を養う。 ・学習内容の発表、質問、宿題等課題の提出物などを通じてコミュニケーションの積極性を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	挨拶、単語の発音の復習 自己紹介、「是」構文の復習 一般動詞 中国の食文化の紹介	a:中国語の基礎知識と挨拶がわかっているか b:文化の理解、文法の理解、それを使った表現ができるか c:授業に出席、参加し、積極的に発音できているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記等）	授業中の発音の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、・提出物
2	助動詞構文① 道の尋ね方、答え方 中国の文化紹介	a:文法、単語の理解・文化理解 b: 助動詞を用いた基礎表現の理解とそれを使った表現ができるか。道の聞き方、答え方の理解と表現ができるか c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の発音の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物
	買い物、お金の表現 家族、レストランでの会話表現 中国の歴史、世界遺産 映画鑑賞	a:文法、単語の理解・文化理解 b:様々な場面での会話と自分の伝えたいことを表現できるか。 映画、文化を学習して感じたことを表現できるか c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物
3	時間の長さを表す表現 助動詞構文② 中国の文化紹介	a:文法、単語の理解・文化理解 b:時刻と時間の長さの表現を理解出来ているか。様々な助動詞を使いこなせているか。 c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度